

※

# よりそう

Side by Side



第67号

編集責任：三好

編集担当者 山田三好

## 満開のヒマワリ



### ～復興への道しるべに～

陸前高田市米崎町の漂着物を撤去した畑に、ヒマワリが満開となっている。津波の爪跡がそこに残る中、黄色い花は、道行く人に笑顔を投げ掛けるように咲いている。

畑は海岸から約2km、緩やかな斜面の中腹にある。一帯に流れ着いた車や漁船などの撤去を、遠野まごころネットが引き受けた。人海戦術で運び出し、塩分を吸着するというヒマワリの種をまいたのは、6月半ばごろ。

津波をかぶった土地で、はたして植物が育つか。一。

8月17日、陸前高田の稲田正吾郎 隊長(30)＝新潟県＝が女中寄、た際に、畑が黄色に染まるほど貝事に咲いているのを見つけた。

作業の終わりが見えず、震災から時が止まっているように思える場所もある。その中で、力強く咲くヒマワリ。稲田さんは「こんなに塩をかぶった土地でもきれいに咲くんだ。少しずつでも前に進んでいるのかなと思えた」と話す。

復興への道しるべ。畑の上に住む家主さんへ

※月刊に毎掲載、原稿もぜひ下す。 <

まごころ種 募集 くわしくはHPへ

笑顔はきっと、届くだろう。

## 津波のこわさ、実感!!

8/19、静岡県立科学技術高等学校看護工学科16名、引率の先生2名、の18名 ママズ社会人5名 といっへん 珍らしい編成の団体ボランティアがこらえる。(陸前高田の現地視察後、釜石駒崎地区へ“どうしても生後に体験せたい”という熱意で13:35着、13:45～14:30 実働45分)

急拠活動場所を準備、器具もろくも存。おかげに“熱意”はすぐに休憩5分を以て、丁寧で手早く回収にすめらる。

感想を聞いてみました。

「互破を回収しても、回収してもキリがなく、回収を続けたのか、もつ言葉もありません・・・」

「テレビで見ているよりも、実際に現地を見させてもらって津波の恐さを実感しました。」

「生活用品が散らばっていて、こゝに平和な生活があったのだ、としみじみ思いました。・・・」  
短時間でも、よく来て下さいました。御苦労様。

男性には AM6:00 以前のタバコを吸う時は静かにお願ひします。(女性も休むおしやすさの種です。)

女性には AM5:00 前から荷物を下すのを待たせて下さい。おすお板1枚へて、男性が寝ています。☺

8/21(日)ボランティアミーティングはPM5:30～@体育館  
8/20(土)の宿泊:112人、活動:292人

8/21(日) 天気 11℃～21℃

気温 18℃～21℃

降水確率 9.1%